

【国際共創学部 開設記念イベント】

国際共創シンポジウム

マンガがひらく日本文化と世界

国際共創学部の開設を記念し、グローバルな視点から日本文化を見つめる本学部の学びを象徴するテーマとして「マンガ文化」を取り上げ、日本の創造力が世界へ広がる姿を多角的に考えます。

【日時】 2026年5月30日(土) 13:30~15:30 (13:00開場)

【会場】 成蹊大学4号館 【対象者】 高校生、大学生、一般の方

参加無料
事前申込制
(定員制)

第1部 基調講演

マンガと歩んだ50年

— 編集者から見たあゆみ —

講演者：堀内 丸恵 氏(株式会社集英社 取締役相談役、成蹊学園理事)

国際共創学部が大切にしている文化と社会の視点から、かつては「読んではいけない」と言われたマンガが日本を代表する文化へと成長してきた歩みを、雑誌黄金期の才能や編集現場での創作の裏側、デジタル化による読者の変化などを踏まえつつ、50年にわたり転換点に立ち会ってきた編集者がひもとき、次世代へのメッセージを届けます。

第2部 パネルディスカッション

世界が読む日本のマンガ

— 国境を越える創造力とその未来 —

登壇者：堀内 丸恵 氏(同上)
椎名 ゆかり 氏(文化庁参事官付 芸術文化調査官(メディア芸術担当))
ファシリテーター：バラニャク平田 ズザンナ 国際共創学部専任講師(専門:ポップ・カルチャー)

国際共創学部が重視するグローバルな視野から、日本のマンガが国境を越えて読まれる現状とその背景を、海外での評価や電子配信、アニメ・映画への展開などを手がかりに考察し、なぜ世界に受け入れられているのかを明らかにするとともに、表現の自由や次世代の創造力を育むための視点を議論します。

申込方法

お申し込みはこちらから

高校生
(定員:100名)



大学生
(定員:200名)



一般の方
(定員:100名)



高校生のみなさんへ!

- 15:30~16:30
成蹊大学在学生およびアドミッションセンター職員による進学相談会を開催!(希望者、参加自由)
- 高校生には来場記念品を進呈!(高校生限定、1人1部)



高校生には
来場記念品を
プレゼント!

パネリスト紹介

堀内 丸恵 氏

1975年成蹊大学法学部卒業後、集英社に入社。週刊少年ジャンプ編集部配属され、秋本治『こちら葛飾区亀有公園前派出所』や小林よしのり『東大一直線』の初代担当編集を務める。とりわけ『こち亀』では、40年に及ぶ国民的長期連載の礎を築いた編集者として知られる。その後、週刊少年ジャンプ副編集長、『スーパージャンプ』編集長、第4編集部長などを歴任し、2005年に取締役、2011年に代表取締役社長に就任。2020年まで社長を務め、会長を経て、2024年より取締役相談役。編集と経営の両面から日本のマンガ文化と集英社の発展を牽引した。成蹊学園理事。



椎名 ゆかり 氏

1986年成蹊大学文学部文化学科卒業、2003年米国オハイオ州ボーリング・グリーン州立大学大学院ポピュラーカルチャー専攻修士課程修了。英語圏のマンガ翻訳者、ライター等を経て、文化庁参事官付芸術文化調査官(メディア芸術担当)。2013年より東京藝術大学非常勤講師、2020年よりデジタルハリウッド大学特任教授を務め、2027年より国際共創学部客員教授就任予定。



バラニャク平田 ズザンナ 氏

日本のポップカルチャーとファン文化、特に現代のメディア、都市空間、ジェンダー、宝塚歌劇を専門とする研究者。国際共創学部専任講師。

NEW

2026年4月、「国際共創学部」新設。



ともに生きる未来なら、
一緒につくれる方がいい。

国際日本学専攻

環境サステナビリティ学専攻

成蹊大学国際共創学部では、文系・理系の枠をこえて考える「文理の複眼思考」を養い、世界や地域が抱える課題に挑みます。【国際日本学専攻】では、文化・歴史・地域といった多様な視点から日本を捉え、世界とつながる力を身につけます。【環境サステナビリティ学専攻】では、環境・地理・データを基盤に、持続可能な社会のあり方を探究します。専攻を超えた学びやフィールドワーク、多様な英語・グローバル教育プログラムを通じて、未来を共に創り出す力を育てていきます。